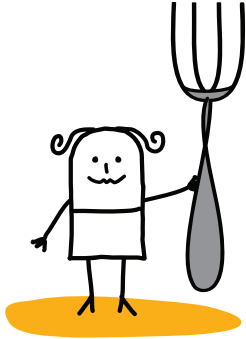


食事・飲み物について

EATING & DRINKING



なぜこうになってしまうのか？

アルツハイマー病や認知症の人に
見られる傾向：

- 食事した事を忘れる。
- 水や食べ物を頼み忘れる。
- 選択肢があり過ぎて混乱する。
- フォークやスプーン、ナイフの
使 い方を忘れる。
- 周りが騒がしいと混乱する。

症状が進むと、起きるかもしれな
い事について：

- 喉にものが詰まりそうになる。
- 食べこぼしなど、周りを汚す。
- 食べる事に興味が無くなる。

アルツハイマー病や認知症の人は、食べたり飲んだりすることが難しくなることがあります。その影響で病気にかかったり、体力が落ちたり、精神的に混乱したりする事もあります。

あなたにできることは？

出来るだけシンプルにする

- 食事の時、毎回同じ事を繰り返す。
- 慣れた静かな場所で食事をさせる。
- 一緒に食事をして介護人が食事をするところを見せる。
- お皿の色はテーブルと違う色にする。
- 食器は柄物ではなく、無地色を選ぶ。
- 食べ物の選択肢を多く与えない。

サポートする

- 食事は静かにゆっくり。
- よくあることだから、食べこぼしや、汚しても気にしない。
- こぼしにくい介護用の食器やストローを使う。

食事をしやすくする

- 食事は起き上がっている状態でする。
- 少しずつ、5～6回に分けて食べさせる。
- 手で持って食べられる物を試してみる。
- 熱いものや冷たいものは避ける。

こんな時は医師に相談する：

- 急に混乱が酷くなった。
- 頻繁に喉にものが詰まる。
- 体重が減少している。



844.HELP.ALZ
AlzheimersLA.org

© 2022 Alzheimer's Los Angeles
Supported by DHHS, ACL
(#90AL0002-01-00 & 90ADPI0049)

